

(仮称)デザイン会議まちづくり講演会「まちをともに描く力。」

講演会に関するアンケート 実施結果

講演会終了後に参加していただいた皆様に、今回のまちづくりに関する講演会についてのアンケートを実施しました。次ページ以降にアンケート用紙及び実施結果を掲載しています。

【掲載内容】

■(仮称)デザイン会議 まちづくり講演会 アンケート	2
■アンケート結果(択一式)	4
■アンケート結果(自由記述)	8

■(仮称)デザイン会議 まちづくり講演会 アンケート

令和7年12月14日
杉並区都市整備部
沿道のまちデザイン担当

(仮称)デザイン会議 まちづくり講演会 アンケート

本日はご参加いただきありがとうございます。

今後の区の実施を充実したものとするため、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記回答フォームよりご回答ください。

回答期限：令和7年12月21日（日）



フォームでの回答が難しい場合はこの用紙にご記入いただき、お帰りの際に受付横の回収ボックスにご提出ください。

【講演内容について】

Q.参加された講演について、講演内容はわかりやすかったですか

吉江 俊 先生「価値がめぐるまちへ」

☐ とてもよくわかった ☐ よくわかった ☐ やや難しかった ☐ 難しかった

稲垣 具志 先生「みんなで考えるまちの空間」

☐ とてもよくわかった ☐ よくわかった ☐ やや難しかった ☐ 難しかった

小柴 直樹 先生「人をつなぐ街を創る」

☐ とてもよくわかった ☐ よくわかった ☐ やや難しかった ☐ 難しかった

Q.講演の中で特に印象に残った点は何ですか（自由記述）

Q.講演内容は今後のまちづくりの参考になると感じましたか

☐ とても参考になった ☐ 参考になった ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

Q.前問について、なぜそう感じましたか（自由記述）

Q.今後聞いてみたいテーマや関心のあるテーマがあれば教えてください（自由記述）

（裏面へつづく）

【講演会について】

Q.会場の案内や受付の流れはスムーズでしたか
<input type="checkbox"/> とてもスムーズだった <input type="checkbox"/> スムーズだった <input type="checkbox"/> 少し混乱した <input type="checkbox"/> 混乱した
Q.講演会全体の時間設定や進行ペースについてどう感じましたか
<input type="checkbox"/> ちょうどよかった <input type="checkbox"/> 概ねよかった <input type="checkbox"/> 長かった <input type="checkbox"/> 短かった
Q.今後も今回のような講演会があれば参加したいですか
<input type="checkbox"/> ぜひ参加したい <input type="checkbox"/> 内容によっては参加したい <input type="checkbox"/> どちらでもない（検討中） <input type="checkbox"/> 参加しない

【（仮称）デザイン会議について】

Q.これまでに（仮称）デザイン会議に参加したことがありますか			
<input type="checkbox"/> 西荻窪地域 <input type="checkbox"/> 高円寺地域 <input type="checkbox"/> 南阿佐ヶ谷地域 <input type="checkbox"/> 参加したことがない			
Q.今後（仮称）デザイン会議やテーマ部会に参加したいですか			
<input type="checkbox"/> 引き続き参加したい <input type="checkbox"/> 参加してみたい <input type="checkbox"/> 参加したくない <input type="checkbox"/> どちらでもない			
Q.（仮称）デザイン会議の今後の案内をご希望される場合は、ご連絡先をご記入ください			
氏 名		連絡先	
住 所			
メール			
地 域	<input type="checkbox"/> 西荻窪地域 <input type="checkbox"/> 高円寺地域 <input type="checkbox"/> 南阿佐ヶ谷地域		

【本日の講演会に参加された方について】

Q.年代を教えてください
<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上 <input type="checkbox"/> 答えたくない
Q.お住まい等について教えてください
<input type="checkbox"/> 区内在住 <input type="checkbox"/> 区内在勤 <input type="checkbox"/> 区内在学 <input type="checkbox"/> その他（ ）

【自由意見】

--

※本アンケートで頂いたご意見等は、氏名、団体等の個人を特定できるような内容は伏せたうえで、区のHP等で公表させていただく場合があります。

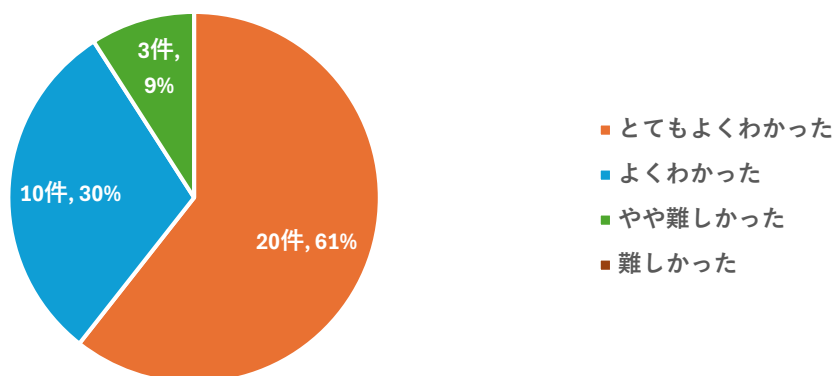
アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

■アンケート結果(択一式)

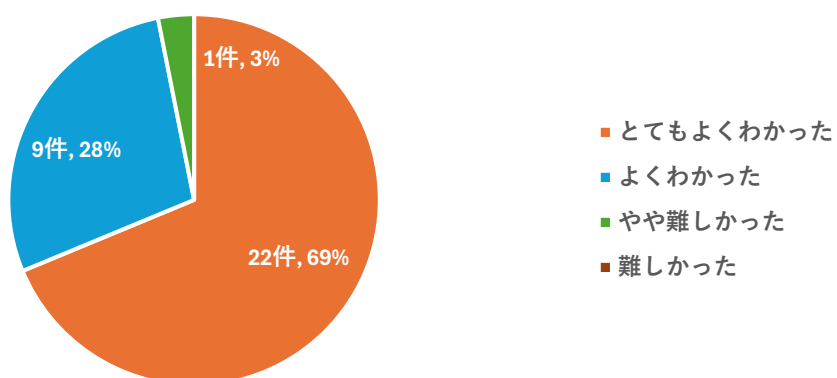
回答数者数 38 人

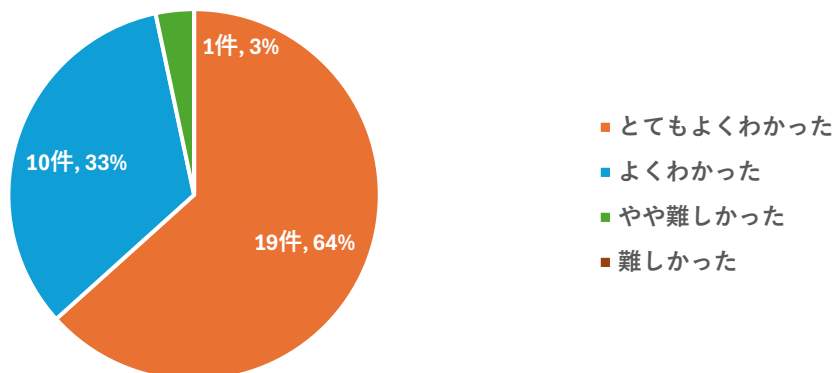
Q.参加された講演について、講演内容はわかりやすかったですか

[吉江 俊 先生「価値がめぐるまちへ」]

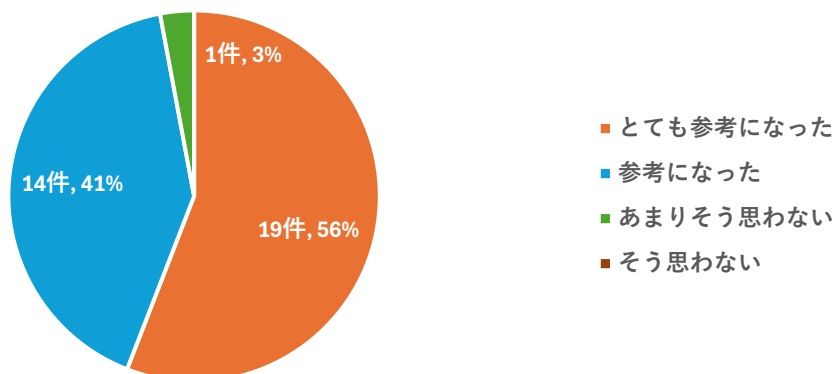


[稲垣 具志 先生「みんなで考えるまちの空間」]

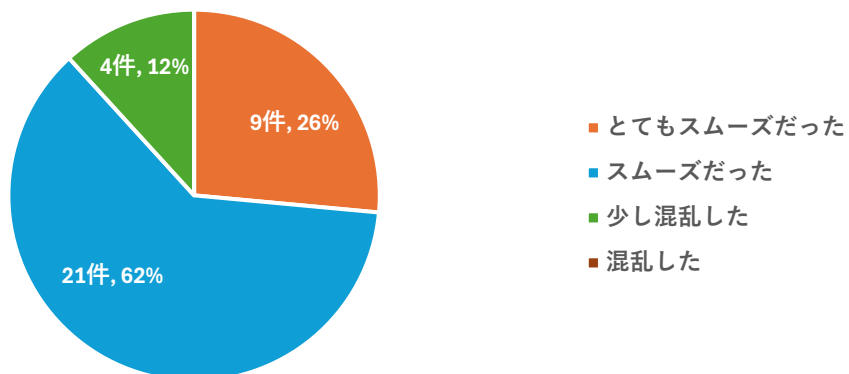




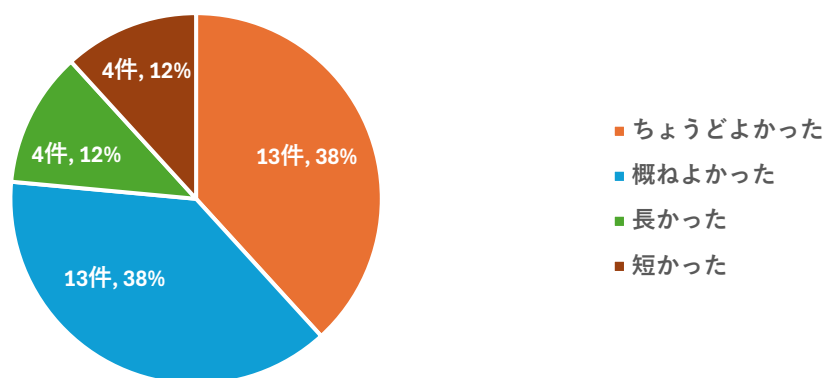
Q.講演内容は今後のまちづくりの参考になると思いましたか



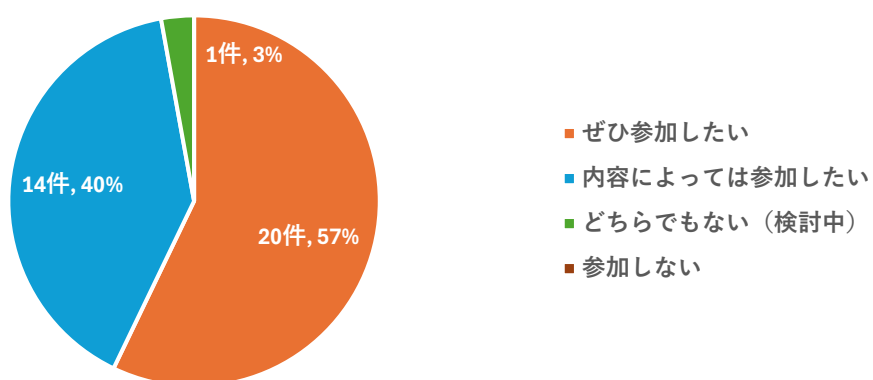
Q.会場の案内や受付の流れはスムーズでしたか



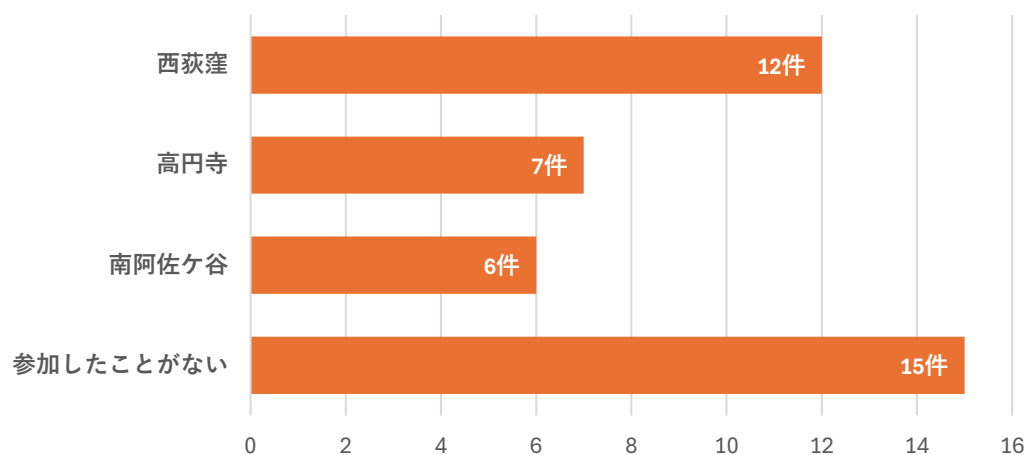
Q.講演会全体の時間設定や進行ペースについてどう感じましたか



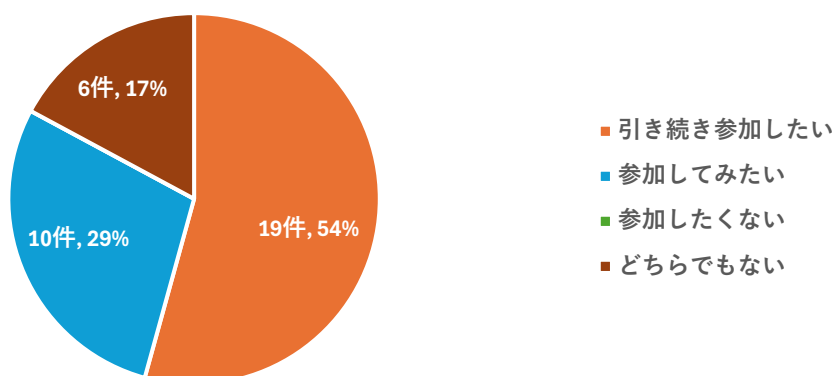
Q.今後も今回のような講演会があれば参加したいですか



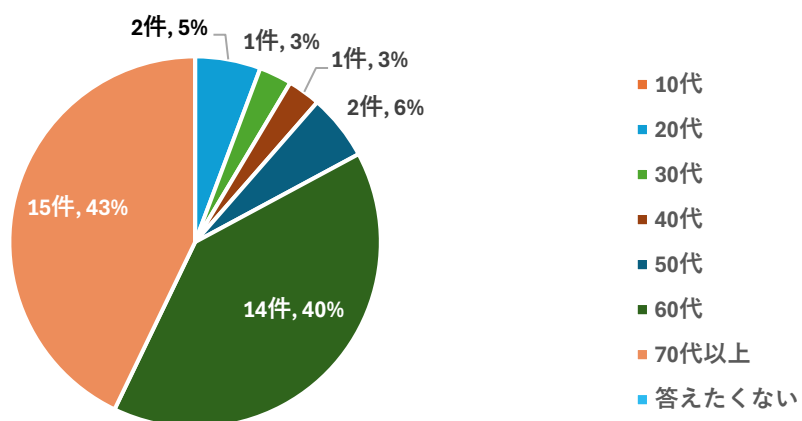
Q.これまでに（仮称）デザイン会議に参加したことがありますか



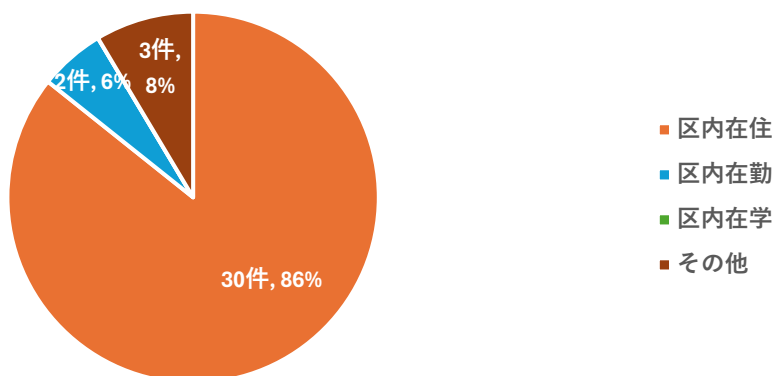
Q.今後(仮称)デザイン会議やテーマ部会に参加したいですか



Q.年代を教えてください



Q.お住まい等について教えてください



■アンケート結果(自由記述)

Q.講演の中で特に印象に残った点は何ですか
迂回する経済、ユニバーサルデザイン、反対者を認めるプロセス、行政参加。
自治体やコミュニティの人たちが参画することが大切ということが印象に残った。
全てです。
吉江先生、稲垣先生、小柴先生の講演は住民の意見をよく聞き、住民と行政が共にまちづくりをしていること。住民の参加が改めて大事なことだと思いました。
迂回する経済、人をつなぐ街をつくる。
行政も個人という考え方。
情報は全て共有されるべき。行政参加という言葉を知った。
若者の参加が少なかった事です。若者は家を持っていてそこにずっと住んでいる訳ではない人が多いので、ある意味それは問題ではないのかもしれませんが、若者も多く住んでいる杉並区において、若者の地域に対する想像力が醸成されず、そのまま流されているのは問題である気もしました。
憲法の趣旨である「個人の尊重」が第一だと！（特に第三部で、その意を強くしました。）
小柴先生の世田谷のまちづくり、また吉江先生、稲垣先生も住民とのコミュニケーションを丁寧に行ってらっしゃると思いました。
生活道路のデザインが面白くためになった。 まちづくり条例によるプロセスの明確化。北沢デザイン会議は当日参加で撮影・録音自由！杉並区でも同様にしてほしい。住民との話し合いを通じたコンセンサスが重要。
・ 迂回する経済。 ・ ゾーン30のことは広く伝えたいですね。
私達、133号線道路計画反対運動している者として 都市計画、都のスケジュールを杉並区（行政）として反対の方向に力を向けてもらいたいと思いました。静かな町を壊さないでください。
「直進する経済」、「迂回する経済」の内容に興味を持った。
直線ではなく、"迂回"することが重要という考え方。
吉江先生：加美町のお話は面白かったが杉並のまちづくりとの関係がよくわからず若干戸惑いを感じた。 下北沢のお話に関し、都市開発に関わってきた者としては、地域の価値を上げることにより当該対象となる開発の価値を上げることは当然で、それこそがエリアマネジメントの目的とを感じるが、敢えて「迂回する経済」と銘打ってエリマネという言葉を使われなかった意味、意図を伺いたかった。 稲垣先生：関西ご出身だけあってお話を伺いながら笑いが絶えなかった。従来の交通工学とは全く違った視点で語られるユニバーサルデザインについて、新たな気づきが多くあった。 小柴先生：質疑応答を含め「都市計画決定」の重みを明快に語られた点が非常に印象に残った。反対者との「信頼関係構築と合意形成」、「誰も置き去りにしない街づくりの心得」は、実践の場を経験された方のお話として重みがあり、反対者を長い目で見ながら巻き込みつつ、現実的な解決策を見出すという進め方について（困難は多々あるかと思うが）成程と感じた。
●吉江先生 「目に見える風景には、それを形作っている背後の生活がある」 「課題解決を越えて、共感を作るのがデザインの役割」

<p>●稲垣先生</p> <p>バリアフリーで大事なこと、「皆にとって 100 点満点は無理、誰にとっても不合格にならないことが大事」</p> <p>●小柴先生</p> <p>小柴先生の多年の取り組みをうかがって大変感銘を受けた。制度も大事だけど、熱意を持って取り組む核となる人の存在が key だと思った。</p> <p>その小柴先生から、「都市計画と勝負するのは難しい」という言葉が出たのが非常に印象に残った。東京都はもう少し柔軟な対応できないものなのか？</p>
「まちづくり」は、行政と住民が力を合わせて取り組みなければ良い結果は生まれない。
<p>稲垣先生の熱意ある講演にフロアの反応が良い反応だったこと。</p> <p>小柴先生の「賛成・反対のまちづくり」「行政参加」という言葉。</p>
<p>吉江先生：まちの景観について「暮らし+風景＝景観」という観点が印象的でした。また、実践でのゲームを取り入れての全世代の意見を聞く手法は杉並区でも行ってみたい試みでした。提案型まちづくり：西荻を含め杉並の各地域でも、市民案をつくっていききたいですね。最後に経済のお話は区政のコモンのあり方を考えるうえで良い手掛かりになると思いました。</p> <p>稲垣先生：zone30 に関しての調査の手法を興味深く拝聴しました。地域の交通全体の動きを調査できると、様々に見えてくる点がありますね。区内の都市計画道路は補助幹線道路であると同時に生活道路でも現にあるので、この辺りをまちづくりとともに丁寧に解いていかないといけないのだという事が理解できました。またユニバーサルデザインのお話は同じ都市空間にいる様々なひとに思いを寄せるいい機会となりました。</p> <p>小柴先生：杉並の各デザイン会議のモデルになっている事例だと思います。大変興味深い内容でしたし、実践を通してのお話は深い説得力を感じました。</p> <p>センシティブな課題であることを踏まえ、杉並区へのメッセージがちりばめられたとても良い講演でした。是非またお話を伺いたいと思いました。</p> <p>市民側の課題、行政側の課題をわかりやすく教えていただいたと思います。</p>
<p>加美町のまちづくりのお話 ワクワクしました。専門性を持った大学の人たちとがいちから リード、工夫して地域の方々が参加し変わっていく様子にこんなまちづくりができたらと思いました。</p> <p>加美町の今の状態は まちづくりを進めた頃と少し変わっているようですね。</p> <p>人が変わり時間が過ぎれば継続がむずかくなる事があると思います。</p> <p>常に地域の事は地域で考える、村の寄り合い都会では町内会など、昔からの知恵なんですね。</p>
<p>対話が大事。賛成する人も反対する人も住民。反対する人の意見に耳を傾ける。</p> <p>情報量を合わせる。情報が変われば考え方が変わる。行政は、情報を開示するからことで信頼される。これからは、住民のやりたいことを行政が支援する視点が求められる。</p>
<p>吉江先生の、かかわりしろのあるまちづくりのお話が大変興味深かった。</p> <p>どの先生のお話も分かりやすく実行力のあるお話ばかりで大変勉強になった。</p>
<p>小柴先生の前向きで実践的な街づくりの考え方が非常に印象的で、我が意を得たと思った。</p> <p>行政が区民を支え、区民が行政を支えて忍耐強く協業して行く事の重要性が良く伝わった。</p>
<p>地域の将来を考えた時、自身の世代に近い人だけでなく（参加者多くの世代以外の人たち）、大先輩世代のオーラルヒストリーへの傾聴や、将来、地域の中心となるであろう、現在の子どもの不安材料や課題・理想・提案も聞いたり、参加できる（ゲーム手法など）ようなコミュニティデザイン会議を考えたいと、お話から感じました。他には、「住民の心得」は肝に銘じて、理解のための学びも同時進行しながら会議参加したいと思います。</p>
行政と住民の双方の心得や合意形成の考え方を紹介した小柴先生の講演は、まちづくりの現場の場数を踏ん

できた区職員ならではのものだった。
吉江さんの＜直進する経済＞＜迂回する経済＞。直進する経済を重視し過ぎだったのではないか。効率重視でもあろう。
人が住むことを重視すれば、それだけでなく、迂回を大切にする観点も大事にすべきという気がする。
・吉江先生の「迂回する経済」、事業にあたっての時間管理と行政の施策持続性、現場との整合などは難しい内容でした。
・稲垣先生の交通安全の講演はいつも丁寧で分かり易く、また、地域に相応しい内容で拝聴の価値大でした。わが国の道路管理者と交通管理者が異なるという制度課題（百害あって一利なし）はお話のとおりで、戦前のように自治体（今で言う都都市整備局）に戻ることが望ましいです。区さんも制度要請活動で強く訴えていただくとともに、区内全域で本気でゾーン 30 に取り組み、不要な車を地域の生活道路からの排除をお願いします。都市計画道路が未整備な当区は全ての道路が生活道路です（一部の地域を除く）。
吉江先生：竣工時に最大とする経済から街の価値を高めて行く迂回する経済が印象的でした。
稲垣先生：生活道路、一方通行における交通安全、交通規制などわかりやすいです。
小柴先生：世田谷区側から説明、北沢デザイン会議ついてのご苦労なこと役に立ちます。
対象となる町の住民の話を聞き取り録音して記録書を作成のうえ行政と連携した点。

Q.講演内容は今後のまちづくりの参考になると思いましたか	Q.前問について、なぜそう思いましたか
とても参考になった	まちづくりへの理解が深まる人が増え、協力する人が増える。大きな合意を経ての計画進行となるから。
	実際に使っているツールなどが使えるのではと思った。
	デザインに興味があります。
	まちづくりの在り方、住民の意見を大事にする。しっかり聞くことが大切。これを活かしていくこととする！
	プロセスや課題を共有できたこと。
	杉並区内の道路を安全に歩行できるように是非デザインしてほしい。
	杉並区でもオーラルヒストリーを作ってほしい。
	近所には色々と話をしたがる高齢者が多く存在している。今ならまだ昔のことを伝えられるのでは。
	新しい知識を吸収できた。
	住民、行政、企業等異なる立場の人たちの間で意見が対立する街づくりの中で、きちんと意見を戦わせ、結論は違っても、相手の立場に立てば何故相手がそういう意見なのかを理解することが大切だということが良く理解できた。
	また、相互理解を促すための様々な実践例を知ることができた。
	様々な意見や知識を知ることにより、「まちづくりのデザイン」案に広がり深さが生まれる。
	熱意ある行政担当者と学識経験者が入れば良い方向に進むと感じられた。
	世田谷のとりくみは同じ区長がはっきりしたビジョンを持ち、長年やっていることも大きいかなと思いました。
	中野区では 駅近くの地域の再開発が進み タワーマンション数棟が建設中

	<p>です。</p> <p>現在の中野区長が タワーマンションをどう考えているかわかりませんが、もし タワーマンションを止めたい思ってももう止めることはできません。サンプラザについては白紙に戻るようですが…</p> <p>高円寺地域の開発について、今 反対 署名 が取り組まれているんですね。</p> <p>小柴さんのお話に反対の意見を持つ人の存在も誠意を持って聞き続けることが打開の道をひらくというお話 全くその通りだと思います。そのためには 区長が何期も同じ意見を持った人でないと難しいと思いました。</p> <p>北沢デザイン 会議を発足させ、住民を主体にして進める中で北沢 PR 戦略会議 が立ち上り、活動、どんどん 形にしていく経過にも わくわくしました。</p> <p>杉並区でも是非とおもいました。</p> <p>時間があるだろうか。</p> <p>来年区政が変わってしまうようならまちづくりの方向も立ち切れになってしまうかもしれませんが…</p>
	<p>視覚障害者からみた街並みのお話や交通事故防止の取組についてのお話は、自身の視点からは気づけないことも多く、今後自信が考える時の意識を変える学びになると感じた。</p>
	<p>街づくりの本質は、結果(≡ハード)ではなくて、そのプロセス(ソフト)にあると知らされたから。</p>
	<p>小田急の北沢エリアの再開発は、聞いてみたいと、会議参加するようになって、感じていたので、伺うことができたので、大変参考になりました。</p> <p>また、他の地域会議参加者の方との様々な違いや共通点を、参加者質問内容や休憩時間などで、知ることもできたのは、講座内容というより、講座形式から、参考になる点が多々ありました。</p>
	<p>デザイン概念の多様性。</p>
	<p>事例に基づく話で、具体的事例が多かったの。</p>
参考になった	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり人生ゲーム。そのやり方、進め方。 ・住民の賛成派、反対派との折り合いのつけ方とか。 ・ゾーン30の話。 ・下北沢ワークショップで全てやった事とか。
	<p>稲垣先生：お話が心に響きました。お互いの意見を聞き話し合う事だ。</p> <p>小柴先生：133号線の道路計画 杉並区役所の担当者と常に会話をして、私達の道路反対の気持ちを訴え続けることかしら。</p>
	<p>現在の行政は、相変わらず、「決まったことだから」という"直線"思考なので。</p>
	<p>どのお話もとても参考になったが、「デザイン会議」が主に杉並区内の都市計画決定済み道路を対象とし、その関係の方々と様々な知見を共有して</p>

	<p>物事を進めるための場であるとの基本的認識を恥ずかしながら有していなかったため（杉並区の将来まちづくりをデザインする場と勘違いしていた自身の怠慢を反省）、一ランク下げて「参考になった」とした。</p> <p>（なお、上記の主たる目的面から考えると、よく考えられた講師の方とお話の内容だったと感じた）</p>
	<p>世田谷の住民と共創するまちづくりに関心があり、参加しました。</p> <p>ご経験に基づき、それぞれの立場での合意形成に向けた働きかけの要点について具体的にご教示いただき、住民発のまちづくりの可能性を感じることができました。</p>
	<p>吉江さんのアプローチはやってみたいが、優れたファシリテーターへの委託が不可欠であり、人手、金、時間がかかる。</p> <p>稲垣さんのテーマは交通安全・U デザイン・地域交通など各論に入った時、個別に学び直すべき。</p> <p>小柴さんからは、デザイン会議の進め方について、具体的課題を明示した上で、先達として学びたいし、行政の皆さんも含め議論・対話を進め、アドバイスを得たい。</p>
あまりそう思わない	学生時の経験談が主だったので物足りなかった。

Q.今後聞いてみたいテーマや関心のあるテーマがあれば教えてください

「対話の区政」の進め方。
今回の様な住民参加の住まい手主体のまちづくり、道づくりとその事例の完成プロセスの情報提供。 区と住民の共有化と実践に向けての、取組の参考になる情報提供。
樹冠被覆率について。
オープンスペース等のプレイスメイキングについて。
<ul style="list-style-type: none"> ・グリーントランスフォーメーションでウェルビーングになる街のデザイン設計。 ・多世代共生の互助のコミュニティづくり。 ・欧州のまちづくり。
アートによるまちづくり。
AI を使った安全な街づくりについて。例えば、交通状況に応じて車の流れを誘導する。 また、街中に監視カメラを置くことはどのように考えているのか知りたい。 自動運転による公共交通機関の充実。現在人員不足によりバスの本数が減っている。
都市計画道路は今も、昔決まった計画を押し続けるのか。疑問を知りたい。
いろんな事例を経験されている中で、失敗したケースもあると思います。成功の例ばかりでなく、失敗の例もお教えいただければ、今後の我々にとって、もっと参考になった、と考えます。
防災を考慮したまちづくり（首都直下地震、豪雨、大規模火災、等）。
今日のようなテーマは1回お1人ずつでその分もっと長く時間を取る方がよいのではないかと。
小柴先生のお話にあった、「市民の行政計画への理解」というテーマが気になるところ。社会集団の合意形成や意思決定のあり方について知ることは、その弱点（瑕疵）も含め、学んでいく必要がありますね。さらに吉江先生の中高校生への学習へもつながると良いなと思いました。
まちづくりについて 対話の場のつくり方、継続のてだてについて。 町内会なののでしょうか？

○“ほこみち”など道路の利活用とまちづくりについて。
○雨水升などグリーンインフラとまちづくりについて。
○シビックプライドとまちづくり条例について。
○リジェネラティブデザインとまちづくり。
地域の歴史や文化や成り立ち、有形・無形資源とは何になるか？の知見を深めたいと思います。
■杉並区のまちづくりは、今はまだ生みの苦しみ中と思う。最新のまちづくりのいくつかの異なるアプローチや異なるゴールを学びたい。そういうことを学ぶ段階であると思う。（今回、直進する経済 v s 迂回する経済を知った。前者は道路／駅＋高層集合住宅＋既成ブランド店へ向かいそうだし、後者は個別住宅＋緑＋安全・防災＋移動が見える。これは一例）
「杉並区の細街路だけの密集市街地で首都直下地震発災時の被害想定と都市計画道路が果たす役割」
稲垣先生からコミュニティバスの活用を伺いたい。
町の住民と行政との連携実績について。

自由意見
とてもよい勉強になりました。対話の区政を進めてください。
世田谷はすごい！！
経験に基づいたとてもよいお話でよかった。
・大学院の研究の中で、まちづくりの PDCA を行えればと思うのですが、どうぞ相談していいのか分からない。
・欧州のまちづくりの要素を区内にも取り込んでほしい。
行政と市民をつなぐアート（ソフト）の効果（サンプル）を知りたい。
まだ頭の中が整理できておりませんが、新しい視点を得ることができてとても面白かったです。質問という形で住民の方のリアルな声を聴けたのも、印象に残りました。
道路拡幅が主題である以上、都市計画における"道路中心の講義"でよろしいのだと考えます。
プレゼン用の配布用のファイルの準備が確認不足で講演者にご迷惑をかけた。司会者が話し過ぎている。最小限に止めてほしかった。区の職員の方ですか？ 講演者の先生方は各々とてもお話が面白くためになった。良い人達だと思う。参加者による SNS 発信を奨励してほしい。講演後すぐに内容をシェアしてほしい。 デザイン会議に参加したい。案内を区の広報で知らせてほしい。
吉江先生のスライド提出データミスは×ですね。 事前に確認しなかったのですか？
3つすべて拝聴しました。大変参考になりました。デザイン会議につなげていくには、まだまだ乗り越えていかなければならないことがあると再認識しました。
杉並区の講演会良かったです。これからの杉並区の支えていく若者に参加してもらいたいのので PR をお願いします。
このような機会を、今後も作っていただけることを希望します。
区役所の職員の方は休日業務になり、大変だったと思います。ご苦労様でした。
デザイン会議、という名称が合わない印象を持ちました。西荻窪など特定の地域の方々のガス抜きがうまく出来ていない状況で区全体に参加者の対象を広げるより、まず地域の中でしっかりガス抜きができるよう工夫していただけたらと感じました。プロの司会の方が都度質問のルールを説明したり、時計を表示している

背景には賛成反対の議論で区としても苦慮されていることは感じ取れましたが、こうした空気では若い人たちが継続して関わりづらいのではないのでしょうか。まずは今日の話にあった明大前街づくり学校のように、賛成反対関係なくさまざまな観点・立場をお互いに学ぶことが先であるように思いました。

僭越ながら地下の受付にずっと立っていらした若い区職員さんにこそ今日の話を聞いていただきたいとも感じました。

同じスライドが2枚並んで表示されるのがとても見づらかったです。会議室の仕様で仕方ないのかもしれませんが、1画面をUDトークなどの字幕変換ソフトなどが表示できるようにしていただけたら、情報保障面でもプラスになると思います。

予定が入りお2人の話しか聞けませんでした。お2人とも住民に寄り添って活動してこられたことが伝わる内容で大変良かったです。

良い会をありがとうございました。

良かっただけに、この会が多くの方と共有できないことが残念です。何かできないか考えたいですね。

暮らしている地域のことに主体的に関わって来なかったと実感。選挙で投票する外は行政にお任せで過ごしてきたのですが、阿佐ヶ谷北東の屋敷林がなくなってはじめてどうすれば良かったのかと戸惑いました。

それから区からの説明会やセッションへの参加するようになりました。

まちづくり すると問われても全くわからず今に至っています。

講演会で知り得たこと、

地域づくりについて関心ある人たちと話したいと思いました。どこにどうやって働きかけて対話の場所をつくればいいのか考えているところです。

職員のみなさんありがとうございました。

公民連携まちづくりについて関心があり、参加させて頂きました。

どの先生のお話も学びの多いものでとても楽しく拝聴致しました。貴重なご機会をありがとうございました。

今回の講演会で残念だった事は、質問タイムなのに、講師へ質問ではなく、自らの意見や広告宣伝の場として利用している人が過半数を占めていた事です。

- ・時間設定「短い」は、あれだけの内容をあの時間では「短い」という意味。
一講師で全時間を使い、質疑応答だけでなく、議論して学び、詰めたい。それに耐える講師を希望。
- ・今回の講師選定のネライは何だったのか、分からなかった。吉江さんの場合は彼に委託しなければ本来の目的は達成できないと思うのだが・・・？
できれば、何を学びたい／区民に何を学ばせたいと考えているのかを明示してもらいたい。
小柴さんの場合だったら、前記したように、杉並の実態を、皆さんも含めて議論し、アドバイスを得たい。
- ・区民と事前に、こういうネライでこの講師をと相談するのも一法。

『今回の講演会について』

- ・司会者の運営について気になる点があります。①開始時刻は待つて1～2分。5分も遅らせるとは何か企みがあるのですか？時間厳守は社会生活の根本です ②運営等の説明を何度も繰り返して（入替後、一度で結構）、時間潰しですか？ ③吉江先生のPCトラブル発生時に講演の途中で質問するとは。何度も講演途中での質問は受けないと言いながら、この対応。あわよくばと、一言居士活躍の場になりかねません ④小柴さんの質疑応答の場での演説、質問は一分以内でと何度も念押ししている中で、何故切らず長々と…貴重な時間をこんな演説を聞きに来たのではありません。

・講演にあったシモキタの事例は世田谷区内全域で綿々と施行されてきた小田急小田原線連立事業の最後のピース、良き事業主体を得、良き鉄道事業者がパートナーとなり実現できた幸運の賜物だと思います。小柴さんの仰る属人的な事業手法？も、行政内部では組織対応以外の何物でもなかったとのこと

『杉並区の都市計画道路整備事業について』

・杉並区の「沿道のまちデザイン係」が3箇所デザイン会議を開催していることを今まで知りませんでした。これでは失礼と思い、講演会までに区のHPを拝見し、急ぎ勉強しました。

・杉並区が事業の成果品をどこに置き、どこまで本気でめり込むのか知りませんが、時は金なり、スピード感をもって（この区は職員、組織共にスピード感覚が希薄ですので）、今の時代で最善の、多くの区民が納得でき、未来の区民にバトンを継げる「落としどころ」と参加者の「花道」を見据えて、事業の早期完了を目指していただきたいと思います。これらの都計道を待ち望んでいる区民は沢山いますし、首都直下地震を眼前に控え、都市基盤が極めて脆弱な杉並（「みどり豊かな住まいのみやこ」に地域危険度5の存在は区民の恥と言われています）を救うには今が最後のチャンスです。特に南北道路の整備は未来の区民への立派な記念碑となります。

・2路線は区が事業認可を取得済みです。わが国は法治国家です。瑕疵なく行われたこの手続きは区民にとって重いもので、尊重すべきです。講演で出たサイレントマジョリティーをどう掘り起こし、利活用するかは区さんの力量ですが、世田谷「恵泉通り」のような住民（区民）の分断を後世に引き、犠牲者が出るのは好ましくないと思います。

・小柴さんも仰るよう、お隣の重厚な組織体制に比し、こちらの組織は非常に薄いです。あまたの都市基盤整備を今日まで継続し施行している十分な経験値、縦横無尽に張り巡らされた情報収集機能（人間関係を含む）、百戦錬磨の強者らを抱えた豊富な人材、どれをとっても敵いません。本気でこの事業を進めるなら、まず、組織造りでは。せめて、各路線に管理職を置いたらと思います。

また、貴部には優秀で、広範な視野を持ち、柔軟な考えに即応できる技術職員を目にします。これら貴重な人材を上手に育て将来につなぎ、区を背負っていただければと思います。申し訳ありませんが、いざと言う時決められず、後ろしか向かない（または、上しか見ない）箸棒管理職よりはずっと気が利いています。

・3路線で進捗に差があるのも気になります（勿論、スタート時の差があるのでしょうが）。仮に、意思決定が滞っているとすれば、長期化が心配です。5次はすぐそこまで来ています。ハード・ソフトとも職場環境を整え、都整部の皆さんの頑張りに期待します。

配布資料は要点のみでも良いかと思います。

会場案内と司会進行がルーズだった。

すでに参加者が9割近く着席しているのに、遅刻者を待つと言い放ち開演を遅らせた。

投影にもミスが目立った。準備不足！